

発展練習問題 22-2

<解答>

直接材料費差異	14,300 千円 (借方差異)
価格差異	21,800 千円 (借方差異)
数量差異	7,500 千円 (貸方差異)
直接労務費差異	16,000 千円 (借方差異)
賃率差異	17,600 千円 (借方差異)
時間差異	1,600 千円 (貸方差異)

【解説】

標準原価カードの空欄箇所の推定

- ・直接材料費 5 千円 × () kg = 100 千円であることから () は 20 である。
- ・合計の金額が 100 千円 + () 千円 + 120 千円 = 252 千円であることから () は 32 である。
- ・直接労務費 () 千円 / 時 × 8 = 32 千円であることから、() は 4 である。

標準価格	5,000	標準消費量	56,000
実際価格	5,400	実際消費量	54,500

標準消費量 $2,800 \times 20 = 56,000 \text{kg}$

直接材料費差異	$(5,000 \times 56,000) - (5,400 \times 54,500) = -14,300$ 千円 (借方差異)
価格差異	$(5,400 - 5,000) \times 54,500 = -21,800$ 千円 (借方差異)
数量差異	$(56,000 - 54,500) \times 5,000 = 7,500$ 千円 (貸方差異)

標準賃率	4,000	標準作業時間	22,400
実際賃率	4,800	実際作業時間	22,000

標準作業時間 $2,800 \times 8 = 22,400$ 時間

直接労務費差異	$(4,000 \times 22,400) - (4,800 \times 22,000) = -16,000$ 千円 (借方差異)
賃率差異	$(4,000 - 4,800) \times 22,000 = -17,600$ 千円 (借方差異)
時間差異	$(22,400 - 22,000) \times 4,000 = 1,600$ 千円 (貸方差異)